

平成22年3月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成21年7月27日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 太陽工機
 コード番号 6164 URL <http://taiyokoki.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成21年8月7日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 渡辺 登
 (氏名) 牛尾 滋昭

TEL 0258-42-8808

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	262	△82.1	△249	—	△261	—	△379	—
21年3月期第1四半期	1,465	—	163	—	157	—	78	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	△130.18	—
21年3月期第1四半期	26.31	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	4,168	2,251	53.8	768.54
21年3月期	3,803	2,672	70.1	913.72

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 2,241百万円 21年3月期 2,665百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 累計期間	1,400	△59.9	△690	—	△720	—	△720	—	△246.84
通期	3,500	△50.7	△1,040	—	△1,100	—	△1,100	—	△377.12

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	2,978,200株	21年3月期	2,978,200株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	61,376株	21年3月期	61,376株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第1四半期	2,916,824株	21年3月期第1四半期	2,977,826株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当社を取り巻く経営環境は、昨年からの世界的な経済情勢の悪化により、国内外での設備投資意欲が停滞しており、引き続き厳しい状況が続いております。

このような環境の中、当社の受注及び引合状況につきましても大いに影響が出ており、前年同期比、受注が急減しております。このような状況下におきましても、当社は顧客のニーズに合った製品開発と生産効率の向上につながる提案に努め、既存取引先の需要発掘及び国内外の新規顧客の開拓・販路拡大に向けた施策を着実に実行してまいりました。その結果、引合状況につきましては、最も停滞していた昨年度後半に比べ回復してきており、特に海外ユーザーからの引合が多くなっております。

また、今年5月には、本社工場敷地内に新工場を増築いたしました。これにより大型機である立形複合研削盤NVGHシリーズ等の生産能力を大幅に向上させております。一方で工場増築により減価償却費等の固定費が増加しておりますが、原価低減・経費削減を積極的に推し進めております。

この結果、当第1四半期累計期間の受注高は180,527千円(前年同期比88.1%減)、売上高は262,067千円(前年同期比82.1%減)、営業損失249,640千円(前年同期は163,527千円の利益)、経常損失261,907千円(前年同期は157,203千円の利益)、四半期純損失379,710千円(前年同期は78,344千円の利益)となりました。

当第1四半期累計期間の営業状況の概要は以下のとおりであります。

[受注]

受注につきましては、独自のマーケティング活動に基づき、顧客ニーズをとらえた製品を開発投入し、冷え込む市場の開拓に尽力しております。そうした活動により、引合は増加しつつあるものの、受注には至らず、当第1四半期累計期間の受注高は、180,527千円(前年同期比88.1%減)となりました。うち当社主力機種である立形研削盤は134,888千円(前年同期比86.0%減)、横形研削盤は33,797千円(前年同期比80.1%減)、その他専用研削盤は11,841千円(前年同期比96.9%減)となりました。

[売上]

売上高につきましては、昨年度後半の受注の低迷が大きく影響し、当第1四半期累計期間の売上高は262,067千円(前年同期比82.1%減)となりました。品目別に示すと、立形研削盤は241,708千円(前年同期比78.0%減)、横形研削盤は8,517千円(前年同期比95.3%減)、その他専用研削盤は11,841千円(前年同期比93.5%減)となっております。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1)資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第1四半期末の流動資産は前事業年度末に比べて596,822千円減少し、2,576,624千円となりました。これは主に売掛金が895,774千円、原材料及び貯蔵品が55,032千円減少したこと、現金及び預金が121,666千円、仕掛品が292,538千円増加したことによるものです。

(固定資産)

当第1四半期末の固定資産は前事業年度末に比べて961,712千円増加し、1,591,957千円となりました。これは主に有形固定資産が975,437千円増加したことによるものです。

(流動負債)

当第1四半期末の流動負債は前事業年度末に比べて227,436千円減少し、898,188千円となりました。これは主に未払法人税等が289,116千円、製品保証引当金が41,511千円減少したこと、買掛金が5,959千円増加したことによるものです。

(固定負債)

当第1四半期末の固定負債は前事業年度末に比べて1,013,053千円増加し、1,018,436千円となりました。これは主にリース債務が947,299千円増加したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期末の純資産は前事業年度末に比べて420,726千円減少し、2,251,957千円となりました。これは利益剰余金が423,462千円減少したこと、新株予約権が2,736千円増加したことによるものです。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は前事業年度末に比べて166,666千円増加し、1,308,597千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、資金は177,043千円の増加となりました。これは主に減価償却費26,892千円、減損損失4,480千円、売上債権の減少895,774千円、仕入債務の増加5,959千円、未払費用の増加111,315千円による資金増加要因と、税引前四半期純損失265,152千円の計上、貸倒引当金の減少1,236千円、役員賞与引当金の減少25,169千円、製品保証引当金の減少41,511千円、たな卸資産の増加214,789千円、未収消費税等の増加76,249千円、未払消費税等の減少40,824千円、利息の支払7,984千円、法人税等の支払284,643千円の資金減少要因によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、資金は36,941千円の増加となりました。これは主に定期積金の減少45,000千円による資金増加要因と、有形固定資産の取得5,522千円、無形固定資産の取得2,635千円の資金減少要因によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、資金は47,318千円の減少となりました。これはリース債務の返済7,650千円、配当金の支払39,668千円の資金減少要因によるものです。

3. 業績予想に関する定性的情報

(当期の見通し)

平成22年3月期第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、前回(平成21年5月7日発表「平成21年3月期決算短信(非連結)」に記載しております)の業績予想から変更はありません。

4. その他

- (1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。

5. 【四半期財務諸表】
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,388,597	1,266,931
売掛金	168,960	1,064,735
製品	—	22,716
仕掛品	744,701	452,162
原材料及び貯蔵品	175,672	230,705
その他	99,692	138,431
貸倒引当金	△1,000	△2,236
流動資産合計	2,576,624	3,173,446
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,044,846	70,985
土地	356,336	357,617
その他	128,083	125,225
有形固定資産合計	1,529,265	553,828
無形固定資産	41,445	44,228
投資その他の資産	21,246	32,188
固定資産合計	1,591,957	630,245
資産合計	4,168,581	3,803,691
負債の部		
流動負債		
買掛金	54,279	48,320
短期借入金	498,000	498,000
未払法人税等	2,334	291,451
役員賞与引当金	—	25,169
製品保証引当金	66,296	107,807
その他	277,278	154,877
流動負債合計	898,188	1,125,624
固定負債		
リース債務	952,681	5,382
その他	65,754	—
固定負債合計	1,018,436	5,382
負債合計	1,916,624	1,131,007
純資産の部		
株主資本		
資本金	700,328	700,328
資本剰余金	637,828	637,828
利益剰余金	958,588	1,382,051
自己株式	△55,041	△55,041
株主資本合計	2,241,704	2,665,167
新株予約権	10,253	7,517
純資産合計	2,251,957	2,672,684
負債純資産合計	4,168,581	3,803,691

(2)【四半期損益計算書】
【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	1,465,544	262,067
売上原価	1,092,357	198,131
売上総利益	373,187	63,935
販売費及び一般管理費	209,659	313,576
営業利益又は営業損失(△)	163,527	△249,640
営業外収益		
受取利息	40	149
受取手数料	666	—
保険配当金	—	214
その他	435	553
営業外収益合計	1,141	917
営業外費用		
支払利息	2,358	7,983
売上割引	2,331	755
支払手数料	2,103	2,704
その他	672	1,740
営業外費用合計	7,466	13,184
経常利益又は経常損失(△)	157,203	△261,907
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1,913	1,236
特別利益合計	1,913	1,236
特別損失		
リース解約損	21	—
減損損失	—	4,480
特別損失合計	21	4,480
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	159,094	△265,152
法人税、住民税及び事業税	61,812	1,691
法人税等調整額	18,937	112,866
法人税等合計	80,749	114,558
四半期純利益又は四半期純損失(△)	78,344	△379,710

(3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	159,094	△265,152
減価償却費	11,117	26,892
減損損失	—	4,480
受取利息	△40	△149
支払利息	2,358	7,983
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,913	△1,236
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	△25,169
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	1,891	△41,511
売上債権の増減額 (△は増加)	426,769	895,774
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△304,291	△214,789
仕入債務の増減額 (△は減少)	86,293	5,959
未収消費税等の増減額 (△は増加)	—	△76,249
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△23,863	△40,824
未払金の増減額 (△は減少)	△15,659	△491
未払費用の増減額 (△は減少)	74,897	111,315
その他	△20,363	82,687
小計	396,291	469,522
利息の受取額	40	149
利息の支払額	△2,358	△7,984
法人税等の支払額	△190,915	△284,643
営業活動によるキャッシュ・フロー	203,057	177,043
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期積金の純増減額	—	45,000
有形固定資産の取得による支出	△9,246	△5,522
無形固定資産の取得による支出	△7,986	△2,635
その他	571	99
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,661	36,941
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△96,000	—
自己株式の取得による支出	△1,637	—
リース債務の返済による支出	—	△7,650
配当金の支払額	△40,985	△39,668
財務活動によるキャッシュ・フロー	△138,622	△47,318
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	47,773	166,666
現金及び現金同等物の期首残高	299,836	1,141,931
現金及び現金同等物の四半期末残高	347,609	1,308,597

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

該当事項はありません。